

つながる医療

社会医療法人
大雄会

脳神経外科



脳神経外科 統括部長 かとう たかゆき
加藤 貴之 医師

● 卒業年
1997年

● 資格
日本脳神経外科学会専門医・指導医
日本脳神経血管内治療学会専門医
日本脳卒中学会脳卒中専門医
日本脳卒中の外科学会技術指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医学博士

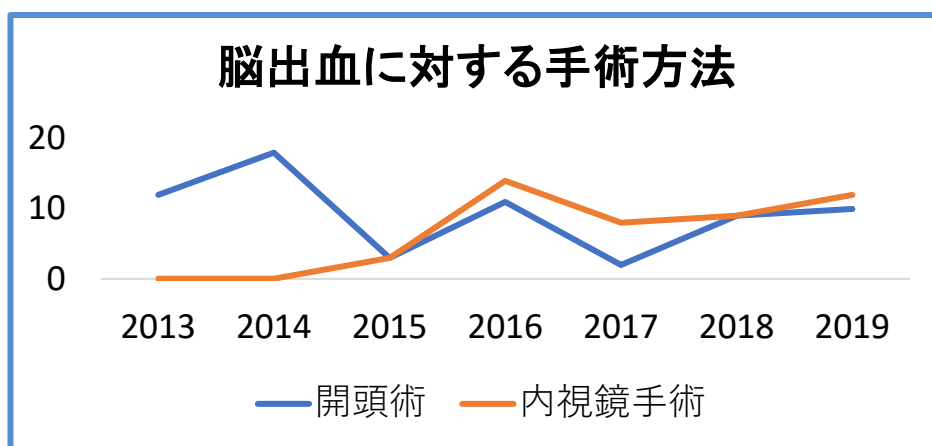
先生の携わっている治療について教えてください

尾張西部医療圏の中核病院として、特に救急医療に力を入れる中、当科は脳神経系疾患全般を対象とし、脳動脈瘤塞栓術や頸動脈ステント留置術、脳梗塞超急性期のカテーテルによる再開通治療など先進的な血管内治療や脳神経外科領域で扱う内視鏡手術を行う体制を整え、より高度な医療をご提供できる体制をとっています。脳神経外科における主な対象疾患は脳梗塞、脳出血、脳動脈瘤、脳挫傷、慢性硬膜下血腫、脳腫瘍などがあります。

神経内視鏡手術について教えてください

神経内視鏡手術とは、脳出血や脳室内の腫瘍性疾患を治療する際に行う手術です。開頭して脳を圧排しながら行う従来の脳神経外科手術の侵襲を少しでも小さくするために開発されてきた方法で、穿頭術（10mm程度の小さい穴）で行うことができます。その結果、手術時間が短縮した侵襲をおさえた手術が可能となります。

また、開頭手術では到達できなかった部分を手術することができるようになりました。現在、脳神経外科全体で取り組んでいる治療です。我々は脳神経外科医ですが、「外科的治療が常に最良」と考えているわけではありません。患者さまの年齢、全身状態、脳疾患の程度、社会的立場、家庭環境などは一人ひとり異なりますので、経験と実績に基づいて十分な情報をできるだけわかりやすく提供し患者さまご本人、ご家族とも相談のうえ治療方針を決定しております。より良い医療を心のかもったかたちで提供できるよう、今後も努力してまいります。



術式	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
開頭術	12	18	3	11	2	9	10
内視鏡手術	0	0	3	14	8	9	12

術前



術後



今後の活動についての目標や展望を教えてください

当科では、外科手術とカテーテル治療の両方を行っています。神経内視鏡手術やカテーテル治療の症例数も増えており患者さんに最適な治療法を提示できる様に心がけています。

また、技術的にも学ぶ機会が多いので若い医師の良き学び場として定着して行く事を目標としています。







ワンポイントアドバイス

「脳梗塞」簡単セルフチェック

キーポイントは「突然」と「片側」
「FAST」チェックをしてみましょう。

脳梗塞の症状は「顔」「腕」「言葉」に現れやすく、それも**突然**に**片側**のみに現れることが多いのです。
右記のような症状があるか自分で鏡を見てチェックしてみましょう。

症状がある場合は直ちに専門医に診察してもらいましょう。

F	A	S	T
Face	Arm	Speech	Time
顔	腕	言葉	すぐ受診
			
うまく笑顔が作れますか？	腕を上げたままキープできますか？	短い文がいつも通りしゃべれますか？	症状に気づいたら、すぐに119番を！

「脳卒中センター」として365日24時間体制で脳神経外科医が常駐し救急に対応しています。

先生の事をもっと知りたい！

●患者さまを診察する際大切にしている事は何ですか？

あまり深刻にならないようにお話をすることを心掛けています。
例えば、腫瘍や脳動脈瘤がありますとお話をすると結構落ち込んでしまう患者様もお見えになるので、「コブができていますが大丈夫ですので、定期的に検査をしていきましょう」などと言葉を選んで説明をするようにしています。

●なぜこの診療科を専攻したのですか？

学生時から外科系の診療科に興味があり、部活（軟式テニス部）の先輩も脳神経外科に進む人が多かったということも影響していると思います。
それと脳神経外科は内科と外科が混在したお得な診療科なんです。そこも大きな魅力です。

●今までで特に印象に残っている症例はありますか？

研修医になったばかりのころ、悪性脳腫瘍で治療をされている患者さんを担当したのですが自分と同年の看護師さんだったんです。
その方も当たり前ですが看護師になったばかりでこれから色々な志もあったと思うのですが・・・結局最後まで担当しました。
その患者さんは今でも時々思い出しますね。

●休みの日は何をして過ごしていますか？

最近、久しぶりにスキーを始めました。
学生時代や研修医のころまでは、よくスキーをしていました。
そこから暫くご無沙汰だったのですが、子供が大きくなってきたことがきっかけとなり、また始めました。折角なのでこの機会に家族全員スキー道具一式新調しちゃいました。
岐阜まで滑りに行くのですが、今年は雪が少なくて大変です。
結構山奥のスキー場まで遠征しています。



詳しくは、地域医療連携室までお電話ください。

tel. **0586-26-2366** (直通) tel. **0586-72-1211** (代表) fax. **0586-24-9999**

●受付時間：月～金 8:30～19:00 土 8:30～12:30
※祝日、年末年始除く

2020年4月発行